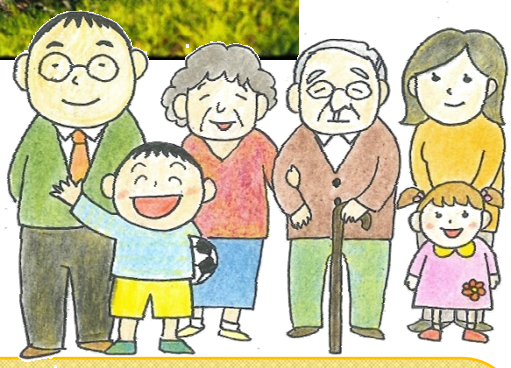
本人・家族の
安心と笑顔を地域でサポートする

認知症ケアパス





「認知症ケアパス」とは、認知症を発症したときから、その進行状況にあわせて、相談窓口やいつ、どこで、どのような支援が受けられるのかを標準的に示すものです。認知症の方やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らしていくためにこの「認知症ケアパス」をご活用ください。

南　陽　市

令和８年３月発行

～いつまでも南陽市で暮らしたい～

認知症と診断された方・「認知症かもしれない」と不安に思っている方やそのご家族に、いつ・どこで・どのような支援が受けられるのかを症状に沿ってご案内します



本人の様子
（症状や行動）

気づき	軽度	中等度	重度	終末期
日常生活については自立して過ごせている	日常生活で見守りなどが必要となってくる	日常生活で介助が必要となってくる	日常生活で常時介護が必要となる	介護なしで日常生活を送ることができない
●人の名前や物の名前が思い出せないことがしばしばある。 ●約束を忘れることがある。 ●財布や通帳など大事な物を探す事が増える。 ●新しいことが覚えられない。 ●日付や時間がわからない時がある。	●買い物で小銭が払えない。 ●大事なものをどこに保管したか思い出せずに探し回ることが増える。 ●家の中に同じ物がたくさんある。 ●何をするのにもおっくうに感じる。	●買い物やお金の管理ができなくなる。 ●季節にあった服を選ぶことができない。服の着方がわからない。 ●ガスの消し忘れや鍋焦がしが多くなる。 ●外出先から一人で帰れなくなることがある。	●着替えや食事、トイレなどがうまくできず介助が必要になる。 ●家族や親族がわからなくなる。 ●食べ物でないものも口に入れる。 ●歩行が不安定になり、転倒なども増えてくる。 ●時間・場所・季節がわからなくなる。	●言葉によるコミュニケーションが難しい。 ●身の回りのことに全面的な介護が必要になる。 ●歩くことが困難となり、ほぼ寝たきりの状態となる。

相談したい

心配なことなど相談し、今後に備えていきましょう
地域包括支援センター
認知症疾患医療センター　認知症初期集中支援チーム　認知症カフェ　さくらんぼカフェ（認知症の人と家族の会）　家族介護者交流会



ケアマネジャー

病院にかかりたい

あれっ？おかしいかな？と感じることがあったら、「認知症チェックシート」　を使ってかかりつけ医に相談してみましょう
日頃の様子や薬などを相談しましょう　かかりつけ医　認知症サポート医　認知症疾患医療センター　歯科医　かかりつけ薬局

人と交流しながら元気な体を維持したい







サロン・老人クラブ・地域の集まり・居場所・認知症カフェ　など…

介護予防・日常生活支援総合事業

頑張りすぎず、介護サービスを利用しましょう
介護保険のサービス

不安はあるが自宅で過ごしたい

緊急通報システム　配食サービス　自動車免許返納支援





家さかえっぺ登録（徘徊高齢者等事前登録）

紙おむつ支給（受給要件あり）　重度要介護者介護手当（受給要件あり）

自分のことを自分で決めたい

日常生活自立支援事業　成年後見制度（お金の管理や財産のこと、契約の支援）

住まい・施設のこと

「施設に入所して利用するサービス」グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅【施設によって入所の要件が異なります】

認知症の方や家族を支援する体制

予防　認知症予防、重症化の予防

① 一般介護予防事業
いつまでも元気ではつらつと生活できるよう、閉じこもりや寝たきり、認知症を予防できる体操や脳トレ、趣味活動などを行います。
問合せ先　南陽市福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

② 居場所　通所型サービスＢ
住民が主体となった通いの場です。誰でも参加でき、茶話会や軽体操、レクリエーション等を行い各自自由に過ごします。
市内５か所で毎週開催しています。
問合せ先　南陽市福祉課介護業務係　☎４０－０６１０



③ 短期集中予防サービス
短期間で集中的に生活機能改善を目指すものです。運動機能改善やお口の教室、栄養改善を目指した訪問を実施しています。
問合せ先　南陽市福祉課介護業務係　☎　４０－０６１０

③ 高齢者地域サロン
住民が主体となって運営・参加を行い、誰でも参加できる地域交流の場です。公民館などの身近な場所で顔なじみの方々が集い、趣味活動や体操、勉強会などをして楽しんでいます。
問合せ先　南陽市社会福祉協議会　☎４３－５８８８

④ 老人クラブ連合会
仲間づくりを通して生きがいと健康づくり、生活を豊かにする活動を行うとともに、知識と経験を生かして地域を豊かにする社会活動に取り組んでいます。
問合せ先　南陽市社会福祉協議会　☎４３－５８８８

生活支援　見守りや声がけ、財産管理や契約支援、生活支援サービス

① ふれあい給食サービス
市内在住の高齢者等で、民生委員に推薦いただいた方に栄養バランスのとれた昼食を配達し安否確認を行います。
問合せ先　南陽市社会福祉協議会　☎４３－５８８８





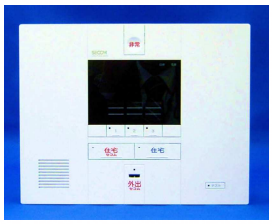
② 家さかえっぺ登録（徘徊高齢者等事前登録）

行方不明になる心配がある方の情報(名前や連絡先、写真など)を登録し、警察などと連携して早期発見に役立てる事業です。希望者にはQRコードが印字された、衣類や持ち物に貼れるシールをお渡ししています。事前に衣類等にシールを貼りつけておき、行方不明時の早期発見に役立てます。

問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

③ 緊急通報システム

健康上の不安を抱えて生活している一人暮らしの高齢者等に機器を貸し出し、緊急時に救急車の手配や、緊急連絡先に登録された方へ連絡してもらうことができます。





問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

④ 認知症サポーター養成講座

認知症キャラバン・メイトが講師となり認知症の基礎知識や対応についてお伝えし、認知症の方や家族を温かく支援する応援者を養成します。

問合せ先　南陽市キャラバンメイト連絡会　☎４３－５８８８

⑤ 日常生活自立支援事業（お金の管理や財産のこと、契約の支援）

認知症や知的・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分の判断で適切に利用することが難しい方を対象に「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理」「書類等の預かり」を行います。

問合せ先　南陽市生活自立支援センター　☎４０－８０６１

⑥ 成年後見制度

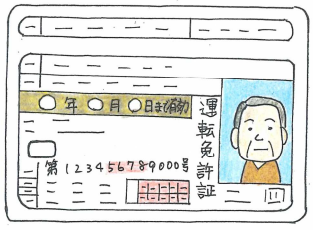
判断能力に不安のある方や意思決定に支障のある方の権利、財産を守り支援する制度です。サービスの契約や財産管理を支援します。

問合せ先　各地域包括支援センター

⑦ 免許証返納支援

運転免許証を自主返納した方にタクシー乗車券やバス回数券等を交付します。

問合せ先　運転免許証自主返納の支援に関すること
市民課生活係　☎４０－８２５５
運転免許証の返納手続きに関すること
南陽警察署交通課　☎５０－０１１０
（内線４１５）



家族支援　認知症の方や介護している家族の支援

① 認知症初期集中支援チーム
介護や医療の専門職によるチームが、認知症の人やその家族に対し、早期受診、体調管理、環境改善、家族支援などの支援を集中的に行います。
問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０



② 認知症カフェ
認知症の本人や家族、地域住民等が気軽に参加でき、お茶を飲みながら和やかな雰囲気の中で、情報交換や交流、介護や福祉の専門家への相談などができます。
問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

③ 家族介護者交流会
在宅で介護されている介護者同士の交流、情報交換などを行ないます。
問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

④ 認知症市民公開講座
市民や認知症に関心のある方を対象に、 認知症に関する正しい理解と地域の支えあいを目的に基本的な認知症の知識と対応の普及啓発のため開催しています。
問合せ先　福祉課介護業務係　☎４０－０６１０

介護　主に自宅(在宅)で利用できるサービス

① 介護予防・日常生活支援総合事業
生活機能低下がみられる方や要支援の認定を受けた方が利用できます。介護予防のための訪問介護（ホームヘルプ）や通所介護（デイサービス）などを利用できます。　問合せ先　各地域包括支援センター

② 介護保険サービス
要介護の認定を受けた方が、「訪問」「通い」「泊り」のサービスや福祉用具貸与・購入、住宅改修費の支給など状況に合わせた様々なサービスが利用できます。
問合せ先　福祉課介護管理係　☎４０－１６４５

③ 紙おむつ支給
在宅介護を受けている方で、常時紙おむつを必要とする要介護１以上の方を対象に紙おむつ券の支給を行います。
問合せ先　福祉課介護管理係　☎４０－１６４５

④ 重度介護者介護手当
在宅で要介護４．５の方を介護している方へ経済的負担を軽くするために支給する制度です。
問合せ先　福祉課介護管理係　☎４０－１６４５



☑認知症チェックシート



「最近もの忘れが気になってきた」「もしかしたら認知症？」
気になったらチェックし、相談したいことをメモしておきましょう

もの忘れがひどい		
□	1	今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
□	2	同じことを何度も言う・問う・する
□	3	しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
□	4	財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
判断・理解力が衰える		
□	5	料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
□	6	新しいことが覚えられない
□	7	話のつじつまが合わない
□	8	テレビ番組の内容が理解できなくなった
時間・場所がわからない		
□	9	約束の日時や場所を間違えるようになった
□	10	慣れた道でも迷うことがある
人柄が変わる		
□	11	些細なことで怒りっぽくなった
□	12	周りへの気づかいがなくなり頑固になった
□	13	自分の失敗を人のせいにする
□	14	「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
不安感が強い		
□	15	ひとりになると怖がったり寂しがったりする
□	16	外出時、持ち物を何度も確かめる
□	17	「頭が変になった」と本人が訴える
意欲がなくなる		
□	18	下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
□	19	趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
□	20	ふさぎ込んで何をするのも億劫がりいやがる

※このチェックはあくまでも目安で認知症の判断をするものではありません

出典：「認知症の人と家族の会」家族がつくった「認知症」早期発見のめやす

◆困っていることや相談したいこと

いくつかチェックがあった方は、かかりつけ医などの医療機関や「相談窓口」（裏面）を参考にこれからのことを早めに相談してみましょう

相談窓口

地域包括支援センター：高齢者の相談窓口	【相談時間】平日 8 時 30 分～17 時 15 分	
南陽市地域包括支援センター 担当地区：吉野　金山　宮内　漆山　中川地区	三間通 436-1 （南陽市役所福祉課内）	☎40-1646
南陽市社会福祉協議会地域包括支援センター 担当地区：梨郷　沖郷　赤湯地区	赤湯 215-2 （長寿センター2 階）	☎50-1018
市の窓口	【相談時間】平日 8 時 30 分～17 時 15 分	
福祉課介護管理係 ◇介護保険	三間通 436-1	☎40-1645
福祉課介護業務係 ◇介護予防	三間通 436-1	☎40-0610
認知症初期集中支援チーム	三間通 436-1	☎40-0610
認知症疾患医療センター	【相談時間】平日9時～17 時	
佐藤病院　認知症疾患医療センター	椚塚 948-1	☎43-6040
山形県認知症相談・交流拠点	【相談時間】平日 12 時～16 時	
さくらんぼカフェ（認知症の人と家族の会） やまがた認知症コールセンター	山形市小白川町 2-3-30 （県小白川庁舎 2 階）	☎023-687-0387

認知症とともに生きる希望宣言

一足先に認知症になった私たちからすべての人たちへ

1. 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、
   社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、
   元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、
   身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
5. 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、
   暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ　JDWG

編集・発行：南陽市福祉課・南陽市地域包括支援センター・南陽市社会福祉協議会地域包括支援センター